



岡崎市上下水道事業 サービスレベルレポート 2022年度版



ごあいさつ

本市における上下水道事業は、令和3年に策定した「岡崎市上下水道ビジョン」において「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」を基本理念に掲げ、様々な施策を推進しています。

本市の水道に目を向けますと、豊富な自己水源を有し、緑豊かな山間部からの恵みにより、安全な水を安定的に供給することができます。また、下水道におきましては、衛生的な生活環境の維持、さらに都市部の浸水対策においても、暮らしを守る重要な役割を果たしています。

さて、「開かれた明るい岡崎」は、私が目指す市政運営の在り方です。市政の主役は市民の皆様であり、開かれた場で意見を交わし、いただいたご意見を市政へ反映するため、就任以来、一貫して市民の皆様のお声を十分に聴き、市民の皆様にご理解いただくために、市民参加型市政を目指してきました。

従来からパブリックコメント制度など意見をいただく機会はありましたが、意思決定の直前における意見聴取となっていました。市民参加型市政は、早い段階から様々な意見に耳を傾け市政運営に取り入れるべきと考え、計画策定や事業推進のプロセスにおいて、積極

的に情報を発信し、幅広く市民参加の機会を提供すること、また、様々な立場の方からご意見をお聴きすることで、広く市民の皆様の英知を結集できると考えています。

この市民参加型市政を推進し、市民の皆様が市政に対する共感や納得感を得ることで、市の魅力向上や岡崎愛の醸成につながり、好循環が生み出されることを期待しています。

今回、初めての発行となる「岡崎市上下水道事業サービスレベルレポート」は、上下水道事業に関する情報を積極的に発信し、多くの市民の皆様にご理解いただき、また、ご意見をいただくことを目的としており、正に市民参加型市政の取組の一つになると考えています。

上下水道は、社会経済活動を支える必要不可欠なライフラインです。しかし、事業開始から100年を迎えようとする現在、施設の老朽化、将来の人口減少に伴う収入の減少、南海トラフ地震や近年増加している大雨による水害対策など、多くの課題に直面しています。

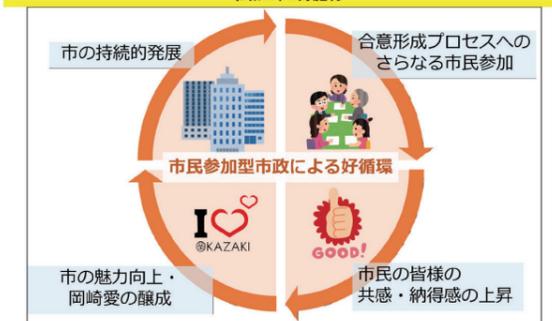
本サービスレベルレポートが、市民の皆様にとって身近な上下水道の理解を深めていただくきっかけとなり、また、直面する課題解決やより良い事業運営のため、市民の皆様のご意見をいただき、次の100年へ向け「直営体制による安全安心の上下水道事業」を目指してまいります。

岡崎市
市長
中根
康浩



市民参加型市政

『岡崎市市民参加型市政の推進に関する指針』
令和4年1月施行



市民の皆様様々なご意見をお寄せください！

目次

CONTENTS

第1章

上下水道事業管理者メッセージ

上下水道事業管理者メッセージ	2
----------------	---

第2章

特集

1.業務の可視化とデジタル化	4
2.実効性のある復旧対策準備へ	5
コラム1 日本水道協会中部地方支部合同防災訓練	7
3.豪雨への対策 六名雨水ポンプ場完成へ	8
4.水道管路網の強靱化	10
コラム2 額田地区での漏水事故事例	12
5.未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト	13
6.明治用水頭首工漏水事故	14
7.学校フレッシュ水道プロジェクト	16

第3章

上下水道事業の経営状況

1.令和3年度決算の状況	18
2.数字で見る上下水道事業	20

第4章

令和3年度の主な取り組み

1.施策方針と主な業務活動	22
2.SDGsとの関わり	46
3.ギャップ分析	47

資料編

財務諸表	50
サービスレベルフレームワーク	58
上下水道ビジョン 指標の実績値	62
アセットマネジメントターゲット進捗状況	64
上下水道事業サービスレベル一覧表	66
用語解説	80

第1章

上下水道事業管理者
メッセージ

岡崎市上下水道局は、市民の生活に欠かせない水道と下水道を所管し、安全で安定的な水の供給や衛生的な生活環境の維持、都市部の浸水対策を担っています。

近年までの人口増加に伴い上下水道の管路や施設は、拡張・建設の時代が続いておりましたが、現在は、本格的な維持管理が求められる時代となり、社会基盤の維持・発展に全力を尽くすため、上下水道ビジョンの基本理念を「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ ~拡張から再構築へ大転換 未来へ引き継ぐライフラインの基盤強化を目指して~」と設定しました。



人口減少による上下水道事業の収入や職員数の減少は、上下水道事業を支える大きな問題です。これからの約40年間で日本の総人口が約30%減少すると推計されており、単純に言えば収入、職員数が30%減少することになります。では、需要の減少とともに維持管理にかかる費用と労力が30%減るかと言えば、そうではありません。管路の末端にあたる地域に1人でも利用者がいれば管路を維持・更新する必要がありますし、社会全体の労働力減少は、職員に限らず、上下水道業界全体でも発生し、担い手不足や技術継承の問



題が顕著に現れてきます。また、岡崎市の下水道事業は今年で100年、水道事業は90年が経過し、事業を支える管路や施設の老朽化が深刻な課題となっています。このような状況を踏まえると、今後の上下水道事業においては、現状の経営手法を見直し、新たなアプローチが必要となってまいります。

持続可能な上下水道事業を維持するための取り組みとして、本市上下水道局では、施設の老朽化や災害への強靱化に対するアセットマネジメント、公民連携によるDX・業務改革などの経営改善や事業基盤の強化に取り組んでいます。しかし、各地の自治体が厳しい経営を背景として料金水準の見直しなどを行っているという報道がなされていることも事実です。このような状況において、経営を適切な方向に舵をきるためには、上下水道事業のプレゼンスを高め、市民の皆様には、上下水道の役割や歴史、事業が抱える課題等を今まで以上に理解してもらう必要があります。そして、市民

の皆様には、利用者としてだけでなく、企業で言えば株主として経営に参加してもらい、事業経営に対して一緒に考えていただく存在になっていただきたいと考えています。

そのためには、「市民への見える化」が重要であり、これまでも公営企業会計の仕組みを解説した「わかりやすい決算書」や、市政だよりの特集記事「いつでも安心して水道水を使うことができるのはなぜなのか。」により見える化を進めてきましたが、更なる取り組みとして、上下水道事業の包括的な報告書である、「岡崎市上下水道事業サービスレベルレポート」を作成することとしました。

このサービスレベルレポートは、市民の皆様には岡崎市の上下水道事業の“現実”を知っていただくことが最大の目的です。例えば昨年5月に発生した明治用水

頭首工の大規模漏水に伴う取水停止で農業や産業に大きな影響が出たことは多くの方がご存じかと思いますが、実はこの影響で上水道も一時、断水の危機にあったということは報道が少なく、一般にはあまり知られていません。第2章以降では、事業の進捗状況や直面している課題などの様々な視点から、岡崎市の上下水道事業について理解いただく上で必要な情報を紹介しています。

上下水道の利用者である市民の皆様には、このサービスレベルレポートをご覧いただき、われわれのよき理解者として「サポーターのような存在」になってもらいたいと考えております。そして、皆様と共創、協働することで社会価値を高める経営「消費者志向経営」に取り組み、岡崎市上下水道事業の次の100年に向けた持続的な事業運営を実現したいと考えています。



令和4年度おかざき上下水フォトコンテスト 最優秀賞